

MELON 情報紙

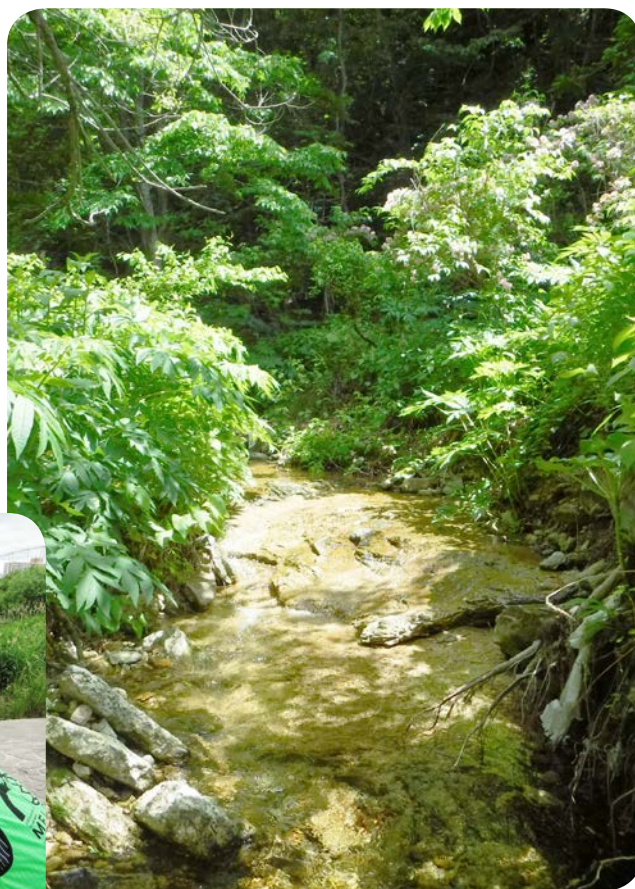
Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2017年7月★第122号

カワゲラ類発見！～広瀬川の水質調査～

水部会では、毎年「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の水質調査を行っています。今年の調査日は6月4日（日）。広瀬川の上流から下流までの5地点で実施しました。調査項目は、パックテストや五感を使った観察など。2日前に雨が降った影響でやや濁りはあったものの、上流から下流まで水質変化はさほどなく、不快な汚れはありませんでした。水質階級の最も高い「I(きれいな水)」に生息する指標生物のカワゲラ類を見ることができました。広瀬川に生息する水生生物は100種類以上もいるそうですよ！水質は、川の中に住む生き物「水生生物」を観察することでも知ることができます。皆さんも、ぜひ身近な川の水質を調べてみませんか？



広瀬川の源流付近（関山峠）から調査をスタート



川底の石の下に
カワゲラ類を発見！



パックテストで色の変化を確認したり、
水辺の様子（水量や音、香り）を観察

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。
1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 カワゲラ類発見！～広瀬川の水質調査～
- P2 知ることから始めよう！電力自由化セミナー
～自然エネルギーを増やし、温暖化を防止しよう！～報告／バスツアー
「環境に優しい建物の見学会in石巻・南三陸」
生物多様性と私たちのくらし
～宮城県薬用植物園 見学会～
／いろいろなハーブを育てて、おしゃれに楽しもう♪
- P3 新職員・インターン生を紹介します！
かんきょう見聞記「お酒はやっぱりヤカンで燗を」
協同組合からのお知らせ
目指せ100人！環境リレートーク 布田直志さん
- P4 ストップ温暖化センターみやぎ通信
／ペガタ山台エコ体験ブースでソーラーランタン作り
- P5 仙臺農塾
- P6 トビックス／イベント一覧／編集後記

知ることから始めよう！ 電力自由化セミナー～自然エネルギーを増やし、温暖化を防止しよう！～報告

日 時：5月20日（土）13：00～15：30
会 場：エルパーク仙台 ギャラリーホール
講 師：柏芳郎さん（東北経済産業局）
浦井彰さん（エネシフみやぎ）
橋本直子さん（須賀川瓦斯株式会社）
大原英範さん（みやぎ生活協同組合）
参加者：48名

一般家庭でも自由に電力会社を選べるようになった「電力自由化」から1年。さまざまな電力会社ができ、多様な料金メニューやサービスが増えました。このたび、電力自由化の基礎的な情報と自然エネルギー・地球温暖化防止に関する情報を伝えるセミナーを開催しました。

柏さんによると、契約先の切替え件数は東北管内で約12万件（約2%：2017年3月末時点）。変更しない理由の多くには、誤解も多いそうです。例えば、「電力会社によって電気の質や停電の頻度が変わるのでは？→どの電力会社に変えても電気の質や停電の頻度は同じ」「変更する際、現在の電力会社と変更先の電力会社両方と手

続きが必要？→原則変更先の電力会社に申し出るだけで大丈夫」など。

浦井さんからは、再生可能エネルギーを増やすために私たちができることとし

て、「電気（購入先会社）を選ぶ」「自分で再エネを作る（ソーラー発電）」ことなどが紹介されました。

変更を検討するには、「料金比較サイトをチェックする」「お住まいのエリアの電力会社情報を確認する」等から始めてみると良いそうです。



会場での質疑応答

■電力自由化に関する相談は、「経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会 相談窓口」へご相談ください。
03-3501-5725(平日9：30～12：00、13：00～18：30)
■再生可能エネルギーを中心とした電力会社一覧は、「パワーシフト・キャンペーン」WEBサイトをご覧ください。
<http://power-shift.org/>（「パワーシフト」で検索）

バスツアー 「環境に優しい建物の見学会in石巻・南三陸」

日 程：6月3日（土）参加者：34名
見学場所・講師
①石巻市門脇「まねきショップ」：
本間英一さん（門脇町内会）
新沼慎二さん（MELONエコ住宅部会）
②南三陸町戸倉の個人宅：
後藤一磨さん（南三陸木の家づくり互助会）
渡辺啓さん（波伝の森山学校）
③学びの里 いりやど：佐藤太一さん（株式会社佐久）
④南三陸志津川さん商店街：
小野寺邦夫さん（丸平木材株式会社）



南三陸杉を多用した
「南三陸志津川さん商店街」

リフォーム時や新居を建てる際に「省エネ」「県産材」「自然エネルギー」を

取り入れた住宅が1件でも増えれば、環境負荷が低減されます。例えば、県産材を使用することで、他県や外国産の木材の輸送時に出る二酸化炭素を抑えることができます。また、伐期を迎えた高齢な木材を建材として利用することで、二酸化炭素の吸収が活発な若い木を植えることができます。森林整備をすることは、土砂崩れが起こりにくい強固な土壌が育まれ、地元林業の活性化にもつながっていきます。さらに薪ストーブを設置すると間伐材を活用でき、ライフラインが途絶えるような災害時にも大変有効です。



板倉工法で作られた、
南三陸町の個人宅

石巻のまねきショップ・南三陸の個人住宅は、壁紙を使わない木の壁なので化学薬品が使われておらず、シックハウスに悩んでいる方にも安心とのこと。多くの参加者が南三陸杉の良さを知り、今後の参考になったようです。地元の木材資源を活用することは地域の自然や産業、健康を支えることになります。そんな魅力的な「木の家」に住んでみませんか？

生物多様性と私たちの暮らし～宮城県薬用植物園 見学会～

日 時：5月13日（土）10：30～12：30
 場 所：宮城県薬用植物園（名取市高舘川上東金剛寺）
 講 師：伊達宗純さん（宮城県環境生活部自然保護課）
 草野源次郎さん（特定非営利活動法人 薬用植物普及協会みやぎ）
 共 催：特定非営利活動法人 薬用植物普及協会みやぎ
 参加者：45名



生物多様性をクイズ形式で学習

「生物多様性」という言葉を聞いたことはありますか？「生物多様性」とは、地球上にはたくさんの生物が生きていて、長い歴史の中で相互のつながりを持っていることをい

います。このテーマを身近な植物から考える機会を作ろうと、宮城県薬用植物園の見学会を行いました。

講師から生物多様性の現状と薬用植物について分かりやすくお話を伺いました。「生物多様性」には危機が迫っており、絶滅危惧種が増え続けているそうです。その要

因は、近年の地球温暖化の影響や無計画な森林の開拓など、人間の活動が大きく影響しているといわれています。なんと世界では、毎年約520万haの森林（東北6県の森林面積は約669万ha）が焼き畑、過放牧、薪炭等の過剰伐採で消滅しているとのこと。また、米の取高を減少させないためにスズメを駆除したところバッタが大量発生し、結局は取高が減少してしまったそうです。このように人間の都合によって生態系の一部を崩してしまうと、元に戻すことはできないといわれています。

園内見学では、カモミールなどの身近なハーブから、形や匂いに特徴のある珍しい植物まで観察し、解説を受けました。参加者からは「わかりやすくてためになりました」「もっと知りたいです」といった感想が聞かれました。今後も「生物多様性」や身近な植物に関心を持つ人が増えるように活動していきます。



土砂降りの中、解説に聞き入る参加者

いろんなハーブを育てて、おしゃれに楽しもう♪

生ごみ堆肥化&ベランダ園芸講座
 「キッチンでおしゃれにハーブを楽しもう♪」
 日 時：5月27日（土）10：00～12：00
 会 場：フォレスト仙台5階 501集会室
 講 師：吉田満さん（ステップナッツ）
 参加者：23名



ハーブに触れて、見て、楽しみました！

4R推進部会では、家庭ごみの約3割を占める生ごみの削減を目的に、生ごみ堆肥化を推進しています。しかし今まで活動してきた中で「堆肥を作っても、活用する畑がない」という声もありました。そこで生ごみ堆肥の活用法として、毎日の料理やお茶の時間に使えるハーブの育て方講座を開催しました。講師の吉田さんか

らハーブ一つ一つの効果や利用方法、育て方について教えてもらいました。

ハーブにはラベンダーのように香りを楽しむものから、ローズマリー、ペパーミントといった料理やお茶として活用できるもの、他にもスパイスや染料に使われるものなどたくさんの種類があり、利用方法もさまざま。参加者はハーブティーと実際のハーブの香りを楽しみながら、熱心にメモを取っていました。

「ハーブの顔を見ながら、お水をあげることも大切」という吉田さんの優しく楽しそうな笑顔から、ハーブのある暮らしは新しい楽しみを増やしてくれるようです。肥料に生ごみ堆肥を使えば楽しみもさらに増えますよ♪



吉田さんからたくさんのハーブ活用法が聞けました！

新職員・インターン生を紹介します！

新職員

4月からMELON事務局に新職員が入りました。また、公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団のCSOラーニング制度により、今年も3名のインターン生が仲間入り。インターン生は、6月から来年1月までの8か月間、MELONのさまざまな活動に携わっていきます。どうぞよろしくお願いします！

インターン生

■佐藤 織恵 (宮城学院女子大学 3年)



新しいことにチャレンジしてみたいと思い、MELONのインターンに参加を決めました。イベント等での経験を重ね、環境について学んでいきます。また、多くの人の関わりや働きを通して社会人としての成長を目指していきたいです。

趣味：読書

■鈴木 利奈 (東北大学3年)



植物や自然が大好きなので、MELONの活動に参加し、環境を守るための仕事に関われることをとても嬉しく思います。

自分から積極的に行動し、たくさんのことを学び、身につけていきたいです。

趣味：アイドル鑑賞

■余 薇 (東北大学修士1年)



自然環境に恵まれて育ったため、環境問題にずっと興味を持っていました。与えられた機会を大切に、少しでも貢献できれば何より嬉しいです。わからないことがたくさんあると思いますが、一つずつ乗り越えていこうと思います。

趣味：音楽を聴くこと、バドミントン



菅澤 彩香

(担当：水部会、食部会、みやぎ里山応援団、エコシティ仙台プロデュースプロジェクト)

MELONに来て3か月が経ちました。MELONに入ったのは環境を広く学びたいと考えたためです。今後身近な取り組みを通して、環境を考えるきっかけづくりをサポートできればと思います。皆さんとお会いしてお話したいです。よろしくお願いします。

趣味：詩吟、おさんぽ



お酒はやっぱり ヤカンで燗を

落語篇⑤

桂 米 朝

やばせぶね

「八橋船」

石垣政裕 (MELON 理事)

商業演劇の作家宇野信夫さんは、ラジオのインタビューで「本当のことを書くとあきない。落語が続いているのは、本当の人間が描かれているから。」と話されていました。笑いながら人間のやることを見つめることも必要です。たとえば機械や情報通信だって人間のやることですから、『安全だ』といわれ続けても、『安全だ』だと信じてしまわないことの方が真実だということを私たちは痛いほど知っています。

今回は船の話です。昔、大津から草津まで行くには途中琵琶湖の船を使うとずいぶん楽になったそう。桂米朝の「八橋船」(特選!! 米朝落語全集第八集、東芝EMI、1990年6月)はその船上での出来事です。今でこそ船にはトイレがありますが昔はありませんでした。そこで、心配なお客さんは「尿瓶」を持参していました。さて、乗船した侍たちが、

船上で酒を飲もうとしたが、燗をつけるヤカンのような入れ物がない。そこでまだ使っていない尿瓶を借りて、燗をつけて飲むことにしました。でもそのことを知らない客はそれに用を足してしまいますので、大騒動になるという楽しい話です(もちろん、お聞きになる方や本稿を読まれる方が食事中でないことを祈ってますが…)

昨年の新聞(2016年12月5日付河北新報朝刊)に、船の積み荷の多少のバランスをとるために使う海水「バラスト水」を停泊地で排出する際、生物の移動などで影響が出ないようにと商船の水質を規制する条約が発効されるという記事が出ていました。船が行き来することが環境に与えることも多いのですね。

先日、軍事的威嚇のため日本海に向かった米軍の原子力空母カール・ビンソンは日本にも寄港(1984年12月)したことがありました。米軍の原子力空母や潜水艦は地元の反対にもかかわらず何度も出入りしています。軍事の場合は秘密事項が多く、寄港先にどんな影響を与えているのかはわかりませんので、停泊地で外からモニタリングするより仕方がないのです。仮に『安全だ』といわれても、人間のすることですから…。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

参加者募集！ 夏休み親子企画『南三陸の森と水辺探検』

南三陸にある「こ～ぶの森貞任山」^{さだとうやま}での観察や周辺の水辺での生き物探し（沢カニなど）、被災地視察などを行います。

日 程：7月22日（土）

集 合：①仙台駅東口貸切バス発着所 8：30集合、17：00解散予定

②道の駅津山もくもくランド 9：45集合、16：00解散予定

定 員：35名（応募多数時抽選）

参加費：無料 ※南三陸産の食材を使った昼食は別途申込（代金は当日支払）

持参物：飲料、帽子、軍手、タオル、着替え、長袖、長ズボン、運動靴

締 切：7月10日（月）

申込方法：参加者名、住所、電話番号、子どもの年齢、集合場所などを明記し、下記までお申込み下さい



こ～ぶの森から志津川湾が望めます

申込み先 みやぎ生協生活文化部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663 Email：sn.mkankyok@todock.jp



目指せ100人！ 環境リレートーク



第65人目の執筆者

ふだ なおし
布田 直志さん

（特定非営利活動法人 笹舟）

皆さんこんにちは、NPO法人笹舟の代表をしています布田直志と申します。震災後、活動は停滞させてしまっているのですが、人が乗れる笹舟を作ることを通して「本気で遊ぶ」をスローガンに活動してきました。そんな私ですが子育てを通して、日々続けていることがあるので紹介させていただきます。

東日本大震災時、炊き出しボランティアに参加していた際にロケットストーブに触れ、これは家庭で応用が利きそうだと感じた私は、すぐにペール缶でストーブを製作し、土鍋を使った炊飯に切り替えることとしました。仙台の割と市街地に居を構えているのですが、煙も少なく、取り扱いの楽なロケットストーブは当時8才だった長男のお手伝いにもって

こいでした。導入したことにより、定期的に山へ子どもと薪を拾いに行き汗を流す。そこで確保した薪でご飯を炊くことで、炊飯にどれくらいの本質燃料が必要で、もし仮に電気ジャーを使った場合は、このくらいの労力と薪の消費を電気に代替えさせたと理解できる。子どもにとって日常的に火に触れることはそのありがたみと危険性を知る機会になります。そしていざとなれば自分の力でご飯は炊けるというメリットは大きいと思います。そんな彼は今年中学生になり、部活動等で忙しくなったのを機に、下の子にこの火遊びを引き継ぎました。もし許されるなら、皆さんも子育ての中に「火遊び」を取り入れてみませんか？

<連絡先>

特定非営利活動法人 笹舟

WEBサイト：<http://sasabune.geo.jp>

… 次号執筆者紹介 …

早坂麻矢さん



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.77

今こそ、温暖化防止のために賢い選択をしよう！

2016年11月に発効された「パリ協定」をうけ、日本は温室効果ガス排出量を2030年度に26%削減（2013年度比）する目標を掲げました。その中でも私たちのくらしから排出される温室効果ガスは約40%削減しなければ目標達成ができません。しかし、具体的にどう削減すればいいのでしょうか？

そんな時はぜひ「うちエコ診断」を受診してみてください！家庭のエネルギー消費量を『見える化』します。さらに「暖房を1時間短縮」「省エネ冷蔵庫に買い替える」

などを実行した場合、光熱費・CO₂がどれくらい削減できるのかを知ることができますよ！

うちエコ診断実施中！（診断無料）
実施期間：2017年6月1日～2018年2月中旬
実施件数：200件（定員に達し次第締切）
申込み・問合せ先：
ストップ温暖化センターみやぎ（022-301-9145）まで
※ウェブで簡単に申込が可能です。「家庭エコ診断制度」で検索！



推進員だより No.24

平成29年度宮城県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式&研修会

日 時：4月24日（月）13：30～15：50
会 場：宮城県庁2階 第二入札室
参加者：20名
内 容：1. 第2,4,6,8,10期の委嘱状交付式
2. 研修会（ワークショップ等）

毎年開催されている推進員委嘱状交付式。今年度は新しい推進員も含め19名が委嘱され、推進員は全49名となりました。その後に行われた研修会では、地球温暖化の知識の再確認として「温暖化O×クイズ」を行いました。日頃から活動をしている推進員が対象だったため、難しいものやひっかけ問題もいくつか出題。一番多く

正解した人にはなんと！豪華な皆からの拍手が送られました。

また、グループに分かれて昨年度の活動を振り返ると共に情報・意見交換を行い、活動への熱い思いを語ったりアドバイスをしたりと交流を深め、今年度の活動イメージを膨らませていました。私たちも推進員のお話を聞いてヒントや勇気をもらいました！



頼もしい仲間たち！

ベガルタ仙台エコ体験ブースでソーラーランタン作り

日 時：6月4日（日）11：00～15：00
場 所：ユアテックスタジアム仙台 北エントランス
体験者：45人

ベガルタ仙台の試合会場で、毎年恒例の「エコ検定」と、新企画「ソーラーランタン作り」のブースを出展しました！エコ検定は、ベガルタ仙台が取り組む環境活動に関する問題を出して、試合観戦に来た小学生に解いてもらいます。親子で考える姿がある一方で、子どもが黙々と難しい問題を解いていく姿に感心している保護者も見られました。ソーラーランタンは、小さな太陽光パネル

付のLEDとプラコップを組み合わせ、自分好みの一品を作ります。実はこのプラコップ、ユアテックスタジアム仙台の飲食店で販売された飲み物のプラコップを回収・洗浄し、リユースしたものです！このブースをきっかけに、普段はすぐに捨ててしまう物にも目を向ける意識を持ってもらえたら嬉しいです。



ソーラーランタン作りは、子どもよりも親が一生懸命でした！

仙臺農塾

大人の食育プロジェクト

第5回「美味しいハムの選び方」

日 時：4月12日（水）19：00～21：00

会 場：一軒家居酒屋大町へそのを
（青葉区大町2-6-4）

ゲスト：高崎かおりさん
（有限会社ジャンボン・メゾン）

参加者：28名

第6回「日本食の基本 出汁、削りの旨味～意外と種類があるんです～」

日 時：5月17日（水）19：00～21：00

会 場：自遊庵 ねぎぼうず
（青葉区中央2-6-22森屋ビルB1階）

ゲスト：濱口利文さん
（有限会社まるご食品）

参加者：27名



各テーブルを回る高崎さん

大崎市岩出山で手作りハム工房を営むゲストをお招きして、食肉加工の現場と作り手のこだわりをお聞きしました。ハム工房の作り手は全員女性。これは全国的にも珍しいそうです。まるで子育てをするように、ハム・ソーセージ作りに手間暇を惜しまないとい

ます。世の中に出回るソーセージの大半は、多くの添加物を使用して作られています。それに対して高崎さんが作るソーセージは、必要最低限の添加物しか使いません。リンパなどの美味しくない部分は取り除き、扱いにくい天然腸を使って、一つ一つを手作りしています。

また「“待つ”（＝熟成させる）ことも技術のうち」とのこと。通常、食肉加工の工程では強制的に塩抜きをしますが、高崎さんは時間をかけて余分な塩分が落ちるまで待ちます。熟成されたお肉は角がなく、まろやかでクリーミーな味となり、さらに美味しさが増すといえます。参加者からは「とにかく、おいしいすぎて感動し



提供されたこだわりのベーコンとソーセージ

ました」「購入して応援したい」といった感想がありました。従来の常識にとらわれず、『美味しさの追求』を続けてきた加工業者と消費者がつながった今回の講座でした。

自宅でお料理する際、削り節から出汁をとることはありますか？第6回は、削り節を製造する加工業者をゲストに招きました。一般家庭では「鰹節」を原料とし



耳、鼻、目、舌で出汁や削り節を感じる講座となりました

と思いますが、実は「鯖節」や「鮪節」「鰹節」など、さまざまな魚の「節」があって、それらを使った削り節があります。当日のお料理にはこれらの削り節から取られた出汁が贅沢に使われ、参加者は耳から出汁に関する知識を得つつ、舌で出汁の複雑な旨味を感じていました。お話しの中で印象に残ったのが、「風味調味料」



魚の種類だけでなく、厚さや形状も異なる削り節の数々

の原材料についてです。有限会社まるご食品で扱う出汁パックの原材料は削り節ですが、市販されている風味調味料は鰹節粉末やエキスよりも、食塩や砂糖が多く入っています。自宅で味噌汁を作る際に風味調味料を入れてさらに味噌を入れると、塩分過多になってしまうそうです。しっかり出汁を取れば味に深みが生まれ、必要以上に味噌で味付けしなくても済むといえます。「時短」が話題に上る世の中ですが、手を抜いて良い部分と抜いてはいけない重要な部分、それを見極める力が大切かもしれません。



満面の笑みの濱口さん（左）とねぎぼうずの鈴木親方（右）をパシャリ！

「第22回MELON会員と市民のつどい ～MELONフェスタ～」開催!

日 時：9月23日（土・祝）13：30～16：00（予定）
場 所：仙台市シルバーセンター7F 第一研修室
（仙台市青葉区花京院1-3-2）

参加費：無料

毎年恒例の会員と市民のつどい、会員同士や会員と役員が交流することを目的として開催します。部会・プロジェクトや会員企業のブース出展に加え、ミニライブや学生環境サークルの活動PRタイムなど多彩な内容を企画中です。会員企業・団体の出展申し込みもお待ちしています。詳細が決まり次第WEBサイトにチラシを掲載します。

会員はもちろん会員以外の方も大歓迎です！ぜひお越しください！



編集後記

■水部会の活動が日本水大賞の「審査部会特別賞」を受賞し、7月に東京で表彰式が行われます。地道に続けてきた活動が評価され嬉しいです！なお水部会員、大募集中です。（古林）

■環境活動の幅の広さを感じる日々です。全てが初めてなので、毎日がとても新鮮です。もし事務所や活動の中で会いましたら、ぜひ気軽にお声がけくださいね。（菅澤）

■夏バテするくせに夏大好きです。冷たいものの摂取をなるべく減らして今年の夏も乗り切ろう。頑張ります！（高橋）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

7/9（日）	「うちエコ診断士養成研修」開催
7/14（金）	自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
7/15（土）	「みやぎ生協太子堂店祭り（仮）」にブース出展
7/16（日）	「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ 2017」にブース出展
7/22（土）	「夏休み宿題企画！親子でソーラーカーを作ろう！」開催 「水道フェア 2017」にブース出展
7/23（日）	「うちエコ診断士養成研修」開催
7/29（土）	水部会 例会
8/3（木）	「第8回『震災対策技術展』東北」に～4（金）ブース出展
8/8（火）	「Kobo パーク宮城エコ体験ブース」に出展
8/24（木）	情報センター 例会
9/2（土）	「仙台長町紙芝居フェスティバル」に出演
9/3（日）	「エコフェスタ 2017」にブース出展
9/10（月）	「第5回はやぶさまつり」にブース出展
9/23（土）	「第22回 MELON 会員と市民のつどい～MELON フェスタ～」開催
10/5（木）	MELONcafe 企画部 例会
10/8（日）	「りふ環境まるごとフェア」にブース出展
10/14（土）	「MELONcafe プチ講座 間伐材で作る小物スタンド」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉

638 名

法人 67

任意団体 11

個人 560

2017年5月31日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON 協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局

TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。



この印刷物は、輸送・マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。